

憲法改悪を許さない全国署名

各地でこんな取り組みが ④②

2022年5月14日

9条改憲NO! 全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668

◆署名の国会提出は5月19日

19日国会行動の機会に署名を提出します。
提出に向け、署名が続々届けられています。報告
も次つき寄せられています

—署名行動の強化と手持ち分の集中を！

◆「憲法改悪を許さない全国署名」は戦争NO! 改憲NO! 0!の署名

◆5・3憲法記念日—「戦争も改憲も許さない！」と 集会・デモ、スタンディング・宣伝・署名…と多彩な 行動全国各地で（下記記事参照）

◆署名・対話で、世論で、フーテンを、改憲勢力・憲法審 査会を包囲しよう

◆ロシアは国連憲章・国際法に基づき直ちに侵略 やめ撤退せよ！

◆「戦争か平和か」の参議院選挙は公示まで6週間—9条 破壊・改憲反対の勢力の3分の1以上獲得に全力！

<施行75年の5月3日、ロシアのウクライナ侵略を糾弾し、9条破壊を許さず、憲法を守り生かそう、参議院選挙勝利をなどと取り組まれた集会・講演会・学習会・パレード・署名宣伝行動・スタンディング・新聞意見広告など、47都道府県・草の根の憲法記念日の行動のうち、事務局に寄せられたものから紹介します>（特に日付のないものは5月3日の行動）

【北海道】

◆「戦争をさせない北海道委員会」が札幌市中央区の大通公園で「憲法施行75周年S
TOP改憲！5・3憲法集会」を開き、約500人が参加しました。室蘭工業大大学院
の清末愛砂教授（憲法学）は「9条が改正されれば自衛の名の下に福祉や教育予算も削
られていく」などとスピーチ。集会後市内をパレードしました。

◆室蘭市の「憲法を守る室蘭地域ネット」は市内で集会を開きました。増岡敏三代表は
「75年間で1人の戦死者も出さずにいられたのは9条があったから」などと発言し
ました。

◆江別市では、憲法9条を考える実行委員会の主催で、「日本国憲法施行75年江別集
会」が開催され、68人が参加しました。岸田久さん（元高校教師）が「いま憲法を考
える」を講演しました。参加者には日本国憲法全文を収録した小冊子が配布されまし

た。

❖岩見沢市では、「戦争法廃止をめざす岩見沢の会」の呼びかけで、25人が参加して、「改憲許さない」「ロシアはウクライナ侵略やめよ」とスタンディング宣伝・リレートークを行いました。

❖夕張市、栗山町、長沼町、南幌町、由仁町の各市町の市民と野党でつくる「1市4町の会」は2台の宣伝カーで恒例のトラックキャラバンを取り組みました。会に参加する団体のメンバーや各党派所属の地方議員らが各地でスピーチしました。

【青森県】

❖青森県九条の会や憲法を守る青森県民の会など13団体と立憲民主、共産、社民の各党は、青森駅前公園で「5・3憲法記念日青森市民集会」を開き、210人が参加しました。県九条の会の金澤茂共同代表が「9条があるからこそ長年、日本の平和は守られてきた。9条を守り抜くために、みんなで頑張ろう」と呼びかけました。社民県連の今村修代表や共産党の高橋千鶴子衆院議員が訴え、立民県連代表の田名部匡代参院議員がメッセージを寄せました。

❖八戸市では29人の参加でスタンディング宣伝が取り組まれました。

【秋田県】

❖秋田市で「第43回平和憲法をまもる県民集会」が開かれ、オンラインも含め180人が参加しました。杉井静子弁護士が講演。集会ではロシアのウクライナ侵攻について、「国際法と国連憲章に違反するもので、断じて許されない」「恒久平和の精神を全世界の人と共有し、平和を実現する」とするアピールを採択しました。

【岩手県】

❖盛岡市の岩手教育会館で憲法記念日に憲法9条を考えようと「5・3憲法集会in岩手」が開かれました。主催は9条改憲NO！全国市民アクション岩手の会。国際ジャーナリストの伊藤千尋さんが「平和・人権・正義の政治を市民の手で～今こそ憲法9条！」の講演を行いました。220人が参加。集会後、参加者たちは「NO WAR」や「憲法9条を守ろう」のプラカードを持ち市内をピースパレードを行い市民に訴えました。

【宮城県】

❖「5・3憲法を活（い）かす宮城県民集会」が仙台市で開かれ、立憲デモクラシーの会呼びかけ人の一人で東京大学教授の石川健治氏が記念講演を行いました。主催は、みやぎ9条懇話会、宮城憲法会議、憲法をまもる市民委員会、宮城県護憲平和センターの4団体。450人が参加しました。講演会後に新緑の街なかを行進し、「ロシアの軍事侵攻 日本政府の軍拡政策に抗議する」と書かれた横断幕でアピールしました。

【山形県】

❖「9条改憲NO！山形県民の会」の主催で山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」を会場に、「5・3憲法記念日講演会」が開催されました。参加した200人の市民は、元米海兵隊員アレン・ネルソンの半生を語り、平和を訴えている俳優の右田隆さんによる一人芝居の公演でロシアのウクライナ侵略糾弾、9条壊すなとの決意を確認しました。

❖米沢市では、市民有志20人が市内の米沢イオン前で、プラカードを掲げたサイレント・スタンディング宣伝を行い、ロシアは国連憲章を守れ、憲法改悪反対を買い物客らにアピールしました。

【福島県】

❖福島市内で「第42回憲法を考えるつどい」（福島県九条の会などによる同つどい実行委員会主催）が開催されました。つどいでは森孝博弁護士が講演しました。参加は約70人、オンラインでの視聴もありました。

【茨城県】

水戸市で、県平和フォーラムと茨城平和擁護県民会議が「憲法擁護市民のつどい」を開き、約 150 人が参加しました。福田護・神奈川平和運動センター代表・弁護士が講演。終了後市内を行進しました。

つくば市では、「憲法フェスティバル」(実行委員会主催)が開かれました。記念講演は日本学術会議の会員任命を拒否された岡田正則早大教授。ウクライナ民族楽器バンドウーラの演奏家カテリーナさんが演奏しました。400人が参加しました。

【千葉県】

千葉市内でアピール行動に取り組み、スピーチと憲法改悪を許さない全国署名を訴えました。千葉県憲法会議と千葉県憲法共同センターが呼びかけたもので、15団体から50人が参加しました。

【東京都】

「祝施行75年 改憲発議許さない！守ろう平和といのちとくらし 2022憲法大集会」が、有明防災公園（東京臨海広域防災公園）で3年ぶりに開かれました。1万5000人が参加しました。

集会では、川口真由美ライブ「未来への夢こわすんじゃねえ！！！！」の後、立憲民主党の奥野総一郎国会対策委員長代理、日本共産党の志位和夫委員長、社会民主党の福島瑞穂党首があいさつしました。

参加者全員が「#憲法改悪に反対します」「守ろう平和・いのち・くらし」のプラカードを一せいに掲げアピールしました。

スピーチは、改憲問題法律家6団体連絡会の大江京子弁護士、フリーライターの小川たまかさん、琉球大学名誉教授の高嶋伸欣さん、ジャーナリスト・和光大学名誉教授の竹信三恵子さんが行いました。市民連合から中野晃一上智大学教授が連帯あいさつ。

本集会の前には「自由に話そうトークイベント」、「#MeToo #WithYou 女たちよつながろう～女の生きづらさ話そうよ～そして踊ろう！」、「子ども憲法ひろば」、「HumanMusic ライブ」の4つのミニステージ企画が行われました。

集会では冒頭にウクライナ特別決議が採択されました。

集会後、豊洲コース、台場コースのパレードが行われました。

練馬区では大泉学園町九条の会が西武線の駅前でチラシを配り、憲法改悪を許さない全国署名を呼びかけました。日本共産党の前区議や生活者ネットワークの区議らもスピーチ。終了後有明防災公園での大集会に合流しました。

全国憲法研究会（憲法学の学者・研究者らで組織、代表・駒村圭吾慶応大学教授）が日本大学神田三崎町キャンパスで憲法記念講演会を開催しました。オンラインも含め300人が参加しました。三浦まり上智大学教授（政治学）が「女性の政治参画を進める なぜクォータが必要か」を、講演鈴木秀美慶応大学教授（憲法学）が「憲法をいかに。憲法でいきる」を講演しました。

国会正門前では、約100人が参加して、手書きのプラカードや横断幕を掲げ、「改憲と戦争を許さない」とスタンディングで訴えました。作家の澤地久枝さんがスピーチしました。

JR新宿駅南口では、俳優や演出家、舞台制作スタッフなど演劇関係者60人が、改憲の動きとロシアのウクライナ侵略に反対するプラカードを掲げ、「サイレント・スタンディング」を行いました。「政権の暴走を許さない演劇人・舞台表現者の会」が呼びかけたものです。

【神奈川県】

横浜駅前では宣伝・署名行動が取り組まれました。約100人が参加し、スタンディング。スピーチし、「憲法改悪を許さない全国署名」を訴えました。呼びかけは「九条かながわの会」。

横浜市神奈川区で、「9条改悪を許さない！参院選勝利で国会発議とめよう！」と30回目となる「5・3県民のつどい」（神奈川憲法会議主催）とデモが行われ、270人が参加しました。富田宏治関西学院大学教授が「維新政治のねらうもの 憲法と地方自治の観点から」を講演しました。

【埼玉県】

埼玉新聞の2面ぶち抜きで「NO WAR 憲法9条生かし、平和で公正な社会に」を大見出しにした憲法意見広告を掲載しました。埼玉憲法会議と「戦争させない！埼玉の会」の呼びかけに5547人、1476の団体が賛同したものです。同意見広告には賛同者名・賛同団体名が記載されています。2016年から毎年、憲法記念日の同紙に意見広告を掲載していますが、今回は戦争法強行後の初回の賛同数に並び7000件台となりました。

【群馬県】

オンライン併用で行われた「第37回憲法記念日集会」（同集会実行委員会主催、会場は群馬音楽センター〔高崎市〕）には1000人が参加しました。伊藤真・日弁連憲法問題対策本部副本部長が講演しました。普天間かおりさんのミニライブもありました。

【栃木県】

宇都宮市で憲法記念日集会が開催されました。九条の会・栃木と栃木革新懇などが呼びかけたもので、集会では憲法学者・弁護士小林節さんが講演しました。

【山梨県】

JR甲府駅北口広場で、戦争させない・9条壊すな！山梨行動実行委員会が呼びかけた山梨憲法集会が行われました。200人が参加。県弁護士会憲法委員会の雨松拓真弁護士もスピーチ。立憲民主党、日本共産党、社会民主党など県内野党の代表も参加しました。

【長野県】

長野市では「守ろう平和憲法信州ネットワーク（信州護憲ネット）」が憲法講座を開き、約70人が参加しました。「チェルノブイリ救援・中部」の原富男副理事長が講演しました。
松本市で「本気でとめる戦争！中信市民連合」が集会を開催、元陸上自衛隊レンジャー隊員の井筒高雄さんが講演しました。集会には約100人が参加し、集会後パレードを行いました。
伊那市では椋（はんどう）大樹弁護士が「檻の中のライオン」を講演しました。
佐久市岩村田では「花さく9条の会」と「ピースアクション佐久」の呼びかけで、30人が参加して街頭でアピール行動を行いました。
飯田市では集会が行われ、市内の清水豊さんが自作の紙芝居を上演しました。
千曲市では、千曲市九条の会が呼びかけた集会に128人が参加しました。飯島光春さん（松代大本営平和祈念館理事）が「満蒙開拓の歴史に学び、平和な未来をつくる」を講演、立憲民主党、日本共産党、社会民主党の県代表があいさつ、杉尾秀哉参議院議員からメッセージが寄せられました。

【新潟県】

9条改憲NO！全国市民アクション@新潟は、新潟市で「5・3憲法記念日行動」のスタンディングを実施。300人以上が参加し、横断幕やプラカードを掲げアピールしました。新潟県知事選（12日告示・29日投票）の片桐なおみ予定候補や参院選新潟選挙区予定候補の森ゆうこ参院議員（立憲民主党）らがスピーチしました。

【石川県】

「憲法改悪NO！市民アクション・いしかわ」は「平和憲法施行75周年記念石川県民集会」を金沢市の金沢歌劇座で開催しました。450人が参加しました。集会では、清水雅彦日本体育大学教授（憲法学）が『「敵基地攻撃」と憲法』を講演。続いて同教授と五十嵐正博神戸大学名誉教授、岩淵正明弁護士、須藤春夫法政大学名誉教授によ

るパネルディスカッションが行われました。立憲民主党、日本共産党、社会民主党の県代表があいさつしました。集会後、市内をパレードしました。

【富山県】

〓富山市水橋九条の会は、地区にある信教寺の梵鐘を借り、九条の会のメンバーら10数人が「戦争いやだ」と平和の鐘つきを行いました。今年で12回目の取り組みです。

【福井県】

〓「戦争する国づくり反対！ 福井総がかりアクション」と「9条の会・ふくい」が呼びかけた集会が福井市・アオッサで開かれ、立教大大学院の金子勝特任教授が講演しました。

【静岡県】

〓「しずおか憲法9条を擁護し実現する会」が、静岡市内で集会を開きました。水島朝穂早稲田大学教授が「平和の『守り方』と『創り方』」を講演。アピールを採択しました。

〓静岡市駿河区では、「憲法を考える市民の集い」（鈴岡県憲法会議主催）が開かれ、渡辺治一橋大名誉教授が講演しました。オンラインを含め150人が参加しました。

〓袋井市では、「憲法記念日袋井市民のつどい」が開催され150人が参加しました。池内了名古屋大名誉教授が「日本国憲法こそが戦争を克服する！」を講演。中日新聞が後援しました。

〓静岡県内の80の九条の会は共同で、朝日新聞、毎日新聞の1ページ全面をつかった意見広告を掲載しました。「NO WAR」と大きく書き、ロシアのウクライナ侵略を許さない、改憲ストップ、憲法に基づく平和外交で紛争解決を、核兵器禁止条約に参加する政府を、辺野古新基地建設ストップなどをアピールしました。今回で12回目の意見広告運動で、5343人から賛同を得ました。

【愛知県】

〓愛知県平和委員会青年・学生部のメンバーら約10人が名古屋駅前で、若者を対象に恒例の憲法アンケートを実施しました。今回で27回目。改憲についてとロシアのウクライナ侵略問題についての質問に80人が答えました。

〓名古屋市公会堂では「市民のつどい～激動する世界と日本の憲法」が開かれ、オンラインも含め約1300人が参加しました。主催は愛知憲法会議。「せやろがいおじさん」のトークライブ、ジャーナリストの青木理さんと水谷陽子弁護士（聞き手）の対談が行われました。蜂須賀太郎県弁護士会会長が連帯と激励のあいさつを述べました。

〓「憲法を暮らしにいかす 改憲NO！あいち総がかり行動」は、名古屋市内で200人以上が参加してデモ行進を行いました。同日名古屋市公会堂で開催された「市民のつどい」でも参加が呼びかけられました。

【岐阜県】

〓「憲法施行75周年記念講演会」が岐阜市長良川国際会議場で開催され、150人が参加しました。日本学術会議会員への任命を拒まれた刑法学者の松宮孝明・立命館大大学院教授が講演しました。主催は岐阜県憲法会議と岐阜県憲法共同センター。

〓大垣市では、「平和・人権・民主主義を考える」西濃憲法集会2022実行委員会が主催した松元ヒロさんのソロライブを行いました。300人が参加しました。

【三重県】

〓「5・3憲法を考える三重県民のつどい」が開催され、92人が参加しました。主催は三重県憲法会議。憲法学者の小林武沖縄大学教員教授が「いま憲法を改正するとは何事か～ウクライナ危機の中で考える～」を講演しました。

- ❖「松阪九条の会」は、市内の4カ所を巡り宣伝。憲法9条や平和の大切さを伝えるスピーチを繰り返し市民に訴えました。
- ❖桑名市では5月1日、市パブリックセンターで椋（はんどう）大樹弁護士が「檻の中のライオン」の講演を行いました。
- ❖四日市市では、近鉄四日市駅前で、市民団体「戦争をさせない三重県1000人委員会よっかいち」の15人が、宣伝行動を繰り広げました。

【滋賀県】

- ❖滋賀首長九条の会が発足しました。大津市の市生涯学習センターで発足会が開かれました。同会の会員は武村正義元知事、嘉田由紀子前知事、平田道雄米原市長ら19人。県段階の首長九条の会は東北6県の会に続くものです。
- ❖大津市では「9条改憲を許さない 滋賀県民集会」が湖岸なぎさ公園で開催され、100人が参加しました。パレードも行いました。
- ❖滋賀・九条の会が大津市で「第16回滋賀・憲法のつどい」を開き、200人が参加しました。ジャーナリストで映画監督の三上智恵さんが講演しました。
- ❖滋賀県の関西9条の会と高島市9条の会は、大津市と高島市の幹線道路沿い7カ所で一斉にスタンディング宣伝を行いました。高島市の「道の駅マキノ追坂峠」前の行動には9人が参加し、「許すな9条改憲」「ロシアはウクライナから撤退せよ」のステッカーをかかげリレートークでアピールしました

【京都府】

- ❖憲法9条京都の会と「9条改憲NO！全国市民アクション・京都」の共催で「5・3憲法集会」が円山公園音楽堂で開かれました。2500人が参加。集会後、参加者らは「9条守ろう」などとコールし、繁華街をデモ行進しました。集会ではジャーナリストの金平茂紀さんが講演しました。日本共産党、社民党、新社会党、緑の党の代表があいさつし、立憲民主党からメッセージが寄せられました。

【奈良県】

- ❖「お笑いライブ&トーク」（平和じゃないと笑えないの会主催、奈良市九条の会交流会など11団体協賛）が奈良市の県文化会館で開かれ、約290人が参加しました。落語家の露の新治さんによるお笑いライブとフリージャーナリストの志葉玲さんによるトークが行われました。集会後には市内をパレードしました。

【大阪府】

- ❖大阪市北区の扇町公園で、「5・3輝け憲法！平和といのちと人権を！おおさか総がかり集会」（主催＝おおさか総がかり行動実行委員会）が開かれました。会場には3500人が参加し、オンラインで同時配信されました。集会ではピースデポ代表の湯浅一郎さんがゲストスピーチ。立憲民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組の各党代表があいさつ。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）国際運営委員の川崎哲さんのビデオメッセージが紹介されました。マイク・サン・ライフが演奏、各分野の市民がリレートークを行いました。集会後、梅田でスタンディング行動をしました。
- ❖大阪平和委員会青年学生部などは大阪市・天王寺駅前で、「5・3若者100人に聞く憲法アンケート」を実施しました。若者101人がこたえました。「憲法改正」や「アメリカとの核共有議論」などの質問に対し、「9条は変えるべきでない」が60%、日本は核兵器を持つべきでない」が86%などの結果でした。また、「（憲法は）今のままでいいのかな、戦争してほしくない」（10代）、「憲法9条を変えてほしくないけど、このまま戦争が長期化していったら意見も分かれてくるかなと思う」（10代）、「ロシアの侵攻が起きてからは（戦力は）持っておいたほうがいいのかなど」（20代）などの声も寄せられました。

【和歌山県】

- ❖和歌山市の JR 和歌山駅前「憲法9条を守る和歌山弁護士の会」、「戦争をさせな

い和歌山県委員会」、「憲法九条を守るわかやま県民の会」が呼びかけた「憲法記念日宣伝行動inわかやま」が行い、70人が参加しました。弁護士や和歌山県地評、県平和フォーラム代表らがスピーチしました。

【兵庫県】

い神戸市中央区・みなとのもり公園で「戦争させない、9条壊すな！5・3兵庫憲法集会」が開かれ、3000人が参加しました。ウェブ配信もされました。「9条の心ネットワーク」、「戦争をさせない1000人委員会・ひょうご」、「兵庫県憲法共同センター」でつくる「総がかり行動兵庫県実行委員会」の主催。メインスピーカーは金平茂紀さん（ジャーナリスト）。来賓として、日本共産党こむら潤参院兵庫選挙区予定候補、立憲民主党井坂信彦衆院議員があいさつしました。ソウル・ゴスペルシンガーの新井深絵さんのミニコンサートもありました。閉会後には同公園からJR元町駅前までをパレードしました。

【岡山県】

い「憲法記念日県民のつどい『輝け日本国憲法！集会』」が開催されました。3年ぶりの集会にはオンラインも含め130人が参加しました。主催は実行委員会。中富公一広島修道大教授が主催者あいさつ、古今亭菊千代さんが憲法落語、植松健一立命館大学教授が記念講演を行いました。

【広島県】

い平和を願う広島県内の幅広い女性たちが、広島市の原爆ドーム前で22人が参加して、「憲法を守り生かす社会に」「NO WAR ウクライナに平和を」と書かれた横断幕を掲げリレートークで宣伝、憲法9条を問うシールアンケートに取り組みました。主催は「5・3憲法を活（い）かそう女たちの会」。シールアンケートには、親子連れや若いカップルなどが相次いで応じ、「憲法を変える」が12人、「わからない」が17人の一方、圧倒的多数の150人が「憲法を守る」にシールを貼りました。

い広島市中区では「ヒロシマ憲法集会」が弁護士会館で開かれ、オンライン併用で260人が参加しました。「戦争させない・9条壊すな！ヒロシマ総がかり行動実行委員会」が呼びかけもの。市民連合@新潟共同代表の佐々木寛新潟国際情報大学教授が記念講演を行いました。

【山口県】

い山口市の市民会館で「2022憲法を守る山口集会」が開かれました。約120人が参加、主催は「憲法を活（い）かす市民の会・やまぐち」や山口県教組などをつくる憲法を守る山口集会実行委員会。「9条で、どうやって、平和な世界をつくるかー理想を掲げて現実を変えるカー」をテーマに鈴木眞澄龍谷大名譽教授が講演しました。「米軍岩国基地由来の新型コロナウイルス感染拡大で見た問題点」の報告が岩国市の「住民投票を力にする会」松田一志代表からされました。アピールが採択されました。

【島根県】

い憲法改悪反対！5・3実行委員会の主催で「憲法9条は世界の宝 Make Peaceの集い」が島根県民会館で開催され、300人が参加しました。集いでは、ゴスペルオーブによるミニライブの後、望月衣塑子東京新聞記者が「ジャーナリズムと憲法の危機」を講演しました。

【鳥取県】

い鳥取市では鳥取市9条の会が連続市民講座を開催しました。藤田安一鳥取大学名誉教授が講演しました。

い米子市では、鳥取県憲法会議など23団体が共同で主催する「憲法学習講演会第13弾」を開催。丹羽徹龍谷大学教授が「いまこそ生かそう平和憲法ー日本国憲法75年の原点と現点」をオンラインで講演しました。

【愛媛県】

〓松山市で「愛媛憲法集会」が開かれました。100人のリモート視聴含め500人が参加しました。軍事問題ジャーナリストの半田滋さんが「ロシアのウクライナ侵攻と日本の安全保障政策」をテーマに記念講演を行いました。集会宣言を採択。集会後3年ぶりとなるアピールパレードを実施しました。

【香川県】

〓「平和憲法を生かすかがわ県民の会」は高松市で総会と記念講演会を開催しました。「誤情報にだまされないために必要なこと」をジャーナリストの津田大介さんが講演しました。総会後には平和行進を行い、行進後の集会では、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、新社会党、みどり・香川の各県代表、県労連、護憲香川の代表らがりレールークしました。

【徳島県】

〓徳島駅前「九条の会徳島」や「反核・憲法フォーラム徳島」など4団体から50人が参加して、「憲法街角トーク」が取り組まれました。堀金博弁護士は紙芝居で憲法の仕組みを紹介、自民党の改憲4項目を批判しました。
〓九条の会徳島は、徳島市ふれあい健康館でカナダ在住の被爆者サーロー節子さんを描いたドキュメンタリー映画「広島への誓い サーロー節子とともに」の上映会を開きました。

【高知県】

〓「憲法施行75周年県民のつどい」が5月1日同集会実行委員会の主催で開かれ、リモート視聴含め150人が参加しました。中野晃一上智大学教授が「私たちは憲法の危機にいかにか立ち向かうか」を講演。

【福岡県】

〓九条の会福岡県連絡会は、早良市民センターホールで「憲法施行75周年 憲法記念日のつどい」を開催し、350人が参加しました。高良鉄美参院議員（参院会派沖縄の風幹事長、琉球大学名誉教授）が「沖縄からみた平和憲法」を講演しました。第一部の平和のためのコンサートでは九州交響楽団メンバーを中心とする弦楽四重奏団が演奏しました。
〓久留米市では、筑後地区有志による実行委員会の主催で「5・3憲法を考える集い」が久留米シティプラザで開催され、100人が参加しました。女性協同法律事務所（福岡市）の山崎あづさ弁護士が「ジェンダー平等と平和な社会を」を講演しました。

【長崎県】

〓実行委員会の主催で、「ながさき9条フェスタ」が開催されました。憲法9条を守ろうと長崎市の市民団体らが毎年開いているもので、パレードには市民およそ150人が参加しました。ロシアによるウクライナ侵攻が長期化する中、集会では「いまこそ世界に9条を広げるべきだ」とするアピールを採択しました。

【佐賀県】

〓「佐賀県平和運動センター」と「暮らしを守る共同行動佐賀県実行委員会」は、佐賀市の県教育会館を会場に憲法集会を開催、200人が参加しました。小城市出身で青山学院大教授の高佐智美氏が難民や在留外国人の人権をテーマに講演しました。古賀初次オスプレイ反対住民の会会長がたたかいの報告をしました。集会アピールを採択。この日同実行委員会は佐賀市内のスーパー前で「憲法改悪を許さない全国署名」行動に取り組みました。

【熊本県】

「第38回憲法をまもる熊本県民のつどい」が熊本市で開かれ、200人が参加しました。同つどい実行委員会が主催。つどい終了後、アーケード街を行進しました。つどいでは、ロシアをテーマにした番組制作に携わった元NHKディレクターの馬場朝子さんが「ウクライナ戦争、その背後にあるもの」を講演しました。

【大分県】

大分市の県教育会館で50回目となる「憲法記念日講演会」が開かれました。平和憲法を守る会・大分、青年法律家協会、科学者会議、県平和運動センター、大分市平和運動センター、立憲民主党、社民党、共産党の共催。名古屋学院大の飯島滋明教授（憲法学）が「憲法の平和主義をどう考えるか」を講演しました。講演会には200人が参加しました。

【宮崎県】

子育てサークル「ママたちのお結び会」が主催して講演会「雨ニモマケヌ宮沢憲法これからこの国はどこへ行く？」が宮崎市で開催され、米国人で広島市在住の詩人、アーサー・ピナードさんが講演しました。家族連れら約30人が参加しました。

「第90回憲法と平和を考えるつどい」がオンラインで開かれ、ジャーナリストの布施祐仁さんが「中国脅威論と憲法9条の活かし方」を講演しました。主催は科学者会議宮崎支部と宮崎民主法律家協会。

【鹿児島県】

県護憲平和フォーラムは、前山口県岩国市長の井原勝介さんのリモート講演を配信し、視聴しました。井原さんは米軍岩国基地を巡り、国が補助金カットと再編交付金のアメとムチで拡大を進めた経緯を紹介。西之表市馬毛島の米軍機訓練計画などに触れ「一度できたら際限なく強化される。議論を尽くし、悔いない選択を」と助言しました。主催者の平井一臣代表は「戦争では市民が被害を受ける。基本的人権や生存権を定めた憲法の精神や内容を考えたい」と呼びかけました。

かごしま県民交流センターでは「市民のつどい」（同実行委主催）が開かれ、約200人が来場しました。現代教育行政研究会の前川喜平代表がコロナ禍の子どもや若者をテーマに講演しました。

【沖縄県】

玉城デニー知事は憲法記念日に当たって談話を出し、日本国憲法が「国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本理念として、国民生活の向上やわが国の平和と安定に大きな役割を果たしてきた」とコメント。日本復帰から50年の節目となることに触れて「本県に日本国憲法が適用されて50年となる」と述べました。沖縄戦や米施政下の歴史にも言及し「平和と人権の尊さを肌身で感じ、平和で真に豊かな沖縄を次世代に託すことが責務だ」とし、「誰一人取り残すことのない『沖縄らしい優しい社会』を実現することが重要だ」と訴えました。県民には「憲法の理念を十分に理解し、基本的人権を尊重し、人権と自由について考え、平和の創造に貢献していただくことを切に祈念する」と呼びかけました。

県憲法普及協議会、沖縄人権協会、日本科学者会議沖縄支部などの主催で、那覇文化芸術劇場なは一とを会場に、「2022憲法講演会」を開催。小説家の柳広司さんが「沖縄からの風—南風に乗るのは誰か？」を講演しました。オンラインも含め500人が参加しました。「沖縄高校生平和ゼミナール」の活動報告や、「沖縄と私～復帰50年、現在、未来」と題したトーク企画も行われました。